

【氏名】平野 泰樹 (ヒラノ ヤスキ)  
 【職名】学長・教授  
 【学位】博士 (法学)  
 【生年月日】昭和 24 年 (1949 年) 4 月 9 日  
 【本学就任】昭和 57 年 (1982 年) 4 月 1 日  
 【略歴】國學院大学法学部法律学科卒業  
 國學院大学法学研究科修士課程修了  
 國學院大学法学研究科博士課程単位取得満期退学

.....  
 【専門分野】刑法学 少年法 フランス刑事法 医療と法  
 【担当科目】刑法入門 A 刑法入門 B 法学 (日本国憲法)  
 ゼミナールⅡ 総合教養  
 【所属学会】日本刑法学会 日本犯罪社会学会 日本インターンシップ学会  
 【研究テーマ】少年と刑罰、死刑と憲法、法と医学 (安楽死、尊厳死、胎児と法、臓器移植法、インフォームド・  
 コンセント)  
 フランス刑事法の歴史的展開

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 27 年度～令和元年度 (5 点まで)]				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月

【平成 26 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「フランス刑法における新旧両派の相克」『近代刑事法の理念と現実』(柏木千秋先生喜寿記念論集)	立花書房	平 3.2
論文	単著	「少年と刑罰」『少年法の展望』(澤登俊雄先生古希祝賀論集)	現代人文社	平 12.3
著書	単著	『近代フランス刑事法における自由と安全の史的展開』	現代人文社	平 14.2
論文	単著	「胎児と法 (1)」 「胎児と法 (2)」	『國學院大学北海道短期大学部紀要』 24、	平 19.3 平 22.3
論文	単著	「尊厳死 ―延命医療中止の法的様相―」	27 『國學院大学北海道短期大学部紀要』 30	平 25.3

【最近の社会的活動】

滝川市立高等看護学院講師 (平 2.4～現在)  
 深川市立高等看護学院講師 (平 12.4～平 31.3)  
 滝川市情報公開・個人情報保護審査会委員会 (会長) (平 18.3～28.3)  
 滝川地区広域消防事務組合情報公開審査会委員会 (会長) (平 20.4～28.3)  
 上砂川町まち・ひと・しごと創生「上砂川町総合戦略策定委員会」委員 (平 27.6～28.3)

【氏名】山寺 三知 (ヤマデラ ミツシ)

【職名】教授

【学位】修士 (文学)

【生年月日】昭和 45 (1970) 年 8 月 14 日

【本学就任】平成 14 (2002) 年 4 月 1 日

【略歴】國學院大學文学部卒業

國學院大學文学研究科博士課程前期修了

國學院大學文学研究科博士課程後期単位取得退学

【専門分野】漢文学、中国文学、中国語

【担当科目】漢文学概説 I・II、漢文学講読 A・B、中国語演習 IVA・IVB、国文総論、国文基礎演習、

日本文学演習 C、卒業論文 I、卒業論文 II

【所属学会】日本中國學會、社団法人東洋音楽学会、國學院大學中國學會

【研究テーマ】中国古代における音楽文化の歴史的研究

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】 [平成27年度～令和元年度 (5点まで)]				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著書	共著	『黄鐘大呂』	文化藝術出版社	平 27.11
著書	共著	『『隋書』音楽志訳注』	和泉書院	平 28.2
論文	単著	「林謙三と郭沫若—『隋唐燕楽調研究』誕生秘話」	『國學院雑誌』 117-11	平 28.11
著書	共著	『林謙三著『隋唐燕楽調研究』とその周辺』	関西大学出版部	平 29.3

【平成26年度以前の主な研究業績】 (5点まで)				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著書	共著	『尺八古琴考』	上海音楽學院出版社	平 17.7
著書	共著	『楽は楽なり II 中国音楽論集 古楽の復元』	好文出版	平 19.3
論文	単著	「『律呂新書』校點節記 (之一) —— 選擇底本, 兼論版本系統」	『文化藝術研究』 2-6	平 21.11
論文	単著	「姜夔與朱熹的古琴定絃法—淺論其間世代及二者交游之可能性—」	『第八屆東亞樂律學國際學術研討會論文集』	平 25.11
論文	単著	「『隋書・音楽志』標點瑣議」	『文化藝術研究』 5-1	平 24.1

【最近の社会的活動】

科研費 基盤研究 (B) (研究課題番号 15H03197、代表: 関西大学 長谷部剛) 研究分担者 (平成 27~29 年度)

科研費 基盤研究 (C) (研究課題番号 18K00156) 研究代表者 (平成 30 年度~現在)

中京大学 先端共同研究機構文化科学研究所 特任研究員 (令和元年度~現在)

【氏名】月岡 道晴 (ツカミ ミチハル)

【職名】教授

【学位】修士 (文学)

【生年月日】昭和 50 年 (1975) 2 月 17 日

【本学就任】平成 16 年 (2004) 5 月

【略歴】國學院大學大学院文学研究科日本文学専攻博士課程後期単位取得満期退学

【専門分野】萬葉集研究

【担当科目】国文総論 (オムニバス形式)、国文基礎演習、卒業論文 I・II、伝承文学概説 I・II、  
日本文学講読 I、国語学講読 A・B、文芸創作展開 B

【所属学会】上代文学会理事、萬葉学会会員、美夫君志会理事、古代文学会会員、日本文学協会委員

【研究テーマ】柿本人麻呂の作品研究、上代日本文学における文字表現の研究、古代文学における付属語の研究

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 27 年度～令和元年度 (5 点まで)]				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「近江荒都歌の構造と視点——『いかさまに思ほしめせか』と『諾しこそ』——」	『美夫君志』 91	平 27.11
論文	単著	「梓弓と真弓——久米禅師と石川郎女との問答歌——」	『国語と国文学』 93-11	平 28.11
論文	単著	「『不知代経浪乃去邊白不母』——宇治河邊作歌から見る人麻呂の表記態度について——」	『上代文学』 118	平 29.4
論文	単著	「選択的表現としての万葉集の仮名遣い」	『古代文学』 57	平 30.3
論文	単著	「日本書紀の構成と仁徳紀の易名記事」	『國學院雑誌』 120-11	令元.11

【平成 26 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「『秋風ゆ妹が音聞こゆ』——卷十・二〇一六歌の異訓をめぐって——」	『萬葉 195』	平 18.8
論文	単著	「風に乗って何が運ばれるのか——漢籍の受容と表現する身体——」	『古代文学』 52	平 25.3
論文	単著	「和歌説話と万葉歌の訓——『俊頼髓脳』をめぐって——」	『滝川国文』 30	平 26.3
論文	単著	「夢に姿を見る——人麻呂歌集卷十・二二四一歌の訓みをめぐって——」	『國學院雑誌』 115-10	平 26.10

【最近の社会的活動】

第 43 回道民芸術祭兼 51 回空知管内郷土芸術祭講師 (新十津川町、令元.9.1)

日本歌人クラブ北海道ブロック代表幹事 (令元.3～現在)

北海道歌人会事務局幹事、(平 30.6～現在 事務局次長)

北海道新聞「新・北のうた暦」連載 (月 2～3 回、平 29.3～現在)

第 30 回北海道新聞短歌賞佳作受賞 (平 27.11)

【氏名】森 悟朗 (林ゴロウ)  
 【職名】准教授、コミュニティカレッジセンター長  
 【学位】修士 (宗教学)  
 【生年月日】昭和 47 (1972) 年 11 月 26 日  
 【本学就任】平成 25 (2013) 年 4 月 1 日  
 【略歴】慶應義塾大学文学部人間関係学科社会学専攻卒業  
 國學院大學大学院文学研究科博士課程前期神道学専攻修了  
 國學院大學大学院文学研究科博士課程後期神道学専攻単位取得退学 ( 國學院大學研究開発推進センター助手  
 國學院大學研究開発推進機構助教  
 國學院大學研究開発推進機構共同研究員

【専門分野】宗教民俗学、宗教社会学、日本近現代宗教史研究  
 【担当科目】国学Ⅰ、国学Ⅱ、日本の歴史A、日本の伝統文化 (日本の伝統と文化)、史学導入演習、史学基礎演習B、国文基礎演習、卒業論文Ⅰ、卒業論文Ⅱ  
 【所属学会】日本宗教学会、「宗教と社会」学会、神道宗教学会、日本山岳修験学会、日本民俗学会  
 【研究テーマ】近現代日本の民俗宗教の宗教民俗学的・宗教社会学的研究。特に近年は神社・寺院に関わる民俗宗教と観光との歴史的・社会的関係の研究や、北海道の神社の研究など。  
 【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】 [平成27年度～令和元年度 (5点まで) ]				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「北海道の切株・棒杭神社についての覚書 —『北海道神社庁誌』を中心に—」	『滝川国文』34	平 30.3

【平成26年度以前の主な研究業績】 (5点まで)				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著書	共著	神田より子編著『鳥海山麓遊佐の民俗』(第5章第3節「藤崎の年中行事—植林の記憶をめぐって—」執筆)	遊佐町教育委員会	平 18.3
著書	共著	森悟朗・新井大祐・大東敬明『言説・儀礼・参詣—(場)と〈いとなみ〉の神道研究—』(第3部「参詣篇—神社と参詣・観光—」執筆)	弘文堂	平 21.3
著書	共著	山中弘編著『宗教とツーリズム—聖なるものの変容と持続—』(第2章「「湘南」の誕生と江の島の変容」執筆)	世界思想社	平 24.7
著書	共著	長谷部八朗編著『「講」研究の可能性』(「神風講社と浪花講・三都講・一新講社」執筆)	慶友社	平 25.5

【最近の社会的活動】

滝川市文化財保護審議会委員 (平 29.4～現在)  
 國學院大學北海道短期大学部公開市民講座「オープンカレッジ」講師 (平 25.7～現在)  
 一般財団法人滝川生涯学習振興会市民講座「リブラーン」講師 (平 25.9～現在)  
 北海道神社庁中堅神職講習会講師 (平 25.6～現在)  
 北海道新聞社ぶんぶんクラブ教養講座講師 (平 26.11～28.9)  
 科学研究費補助金・基盤研究 (C)「伊勢参宮ツーリズムの近代史に関する実証的研究 —御師廃止から昭和戦前期まで—」(研究課題番号: 17K02146) の研究分担者 (平成 28～30 年度)

【氏名】秋山 晴人 (アキヤマ ハルト)  
 【職名】准教授  
 【学位】教育学士  
 【生年月日】昭和29(1954)年4月12日  
 【本学就任】平成28(2016)年4月1日  
 【略歴】北海道教育大学札幌分校・小学校課程(国文学・国語科教育学専攻)卒業  
 札幌市教育委員会指導主事  
 札幌市立三角山小学校校長

【専門分野】国語科教育法、学校経営、教員養成  
 【担当科目】教育課程論、教育方法論、国語科教育方法、国語概説、国語科指導法、  
 教育相談、生徒指導、児童文学、国文総論、卒業論文Ⅰ、卒業論文Ⅱ、  
 国文基礎演習、教育実習Ⅰ、教育実習Ⅱ、教育実践演習  
 【所属学会】北海道国語教育連盟、日本国語教育学会、全国大学国語教育学会  
 【研究テーマ】言語意識を高める国語科教育の在り方に関する研究  
 【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[平成27年度～令和元年度(5点まで)]				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月

【平成26年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著書	共著	『新しい学力観に立つ授業展開のポイント 国語科』	東洋館出版社	平6.8
論文	共著	「子供の自己実現につながる学習指導に関する研究」	『札幌市教育研究所研究紀要』20	平10.3
論文	共著	「子どもの学習状況に関する比較研究～日米の子どもの学習状況の相違」	『札幌市教育研究所研究紀要』21	平11.3
著書	共著	『教育改革の中の子どもたち～生活・人間関係・自己像・学校の視点から』	東洋館出版社	平15.3
論文	共著	「教員10年経験者研修の評価研究：参加者の視点から」	『北海道教育大学教育実践総合センター紀要』7	平18.3

【最近の社会的活動】

札幌市教育委員会 教科用図書選定審議会小学校部会(国語科)委員長(平22.4)  
 札幌市教育委員会 札幌市小学校教育課程編成の手引(国語科編)作成委員長(平22.4)  
 札幌市小学校長会 事務局研究部長(平23.4～平25.3)  
 北海道国語教育連盟 常任委員(平23.4～平27.3)  
 札幌市小学校長会 副会長(平25.4～平27.3)  
 札幌市PTA協議会副会長(平26.4～平27.3)  
 札幌市教育委員会 新たな「札幌市教育振興基本計画」検討会議委員(平26.4～平27.3)  
 滝川市立江陵中学校校内研修助言者(令元.11)

【氏名】 渡辺 開紀 (ワタベ カキ)

【職名】 助教 (国文学科)

【学位】 修士 (文学)

【生年月日】 昭和 55 (1980) 年 4 月 22 日

【本学就任】 平成 29 (2017) 年 4 月 1 日

【略歴】 國學院大學文学部日本文学科卒業

國學院大學文学研究科日本文学専攻博士課程前期修了

國學院大學文学研究科日本文学専攻博士課程後期満期退学

【専門分野】 古典文学

【担当科目】 古典語の基礎 A、古典語の基礎 B、日本文学講読 B、

日本文学演習 B、日本語の基礎、国文基礎演習、卒業論文 I、卒業論文 II

【所属学会】 國學院大學國文学会、日記文学会 (運営委員)、中古文学会、全国大学国語国文学会

【研究テーマ】 『和泉式部日記』を中心とする王朝文学

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】 [平成27年度～令和元年度 (5点まで)]				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文 学会発表	単著	『和泉式部日記』の反実仮想	『平安文学研究』7	平 28.3
	単著	「応永本『和泉式部物語』の帥宮」	日記文学会第73回大会	平 28.12
論文	単著	「[研究ノート] 『和泉式部日記』 引歌・漢籍索引 (一)」	『滝川国文』35	平 31.3
論文	単著	『和泉式部日記』七夕贈答歌をめぐる試論	『國學院大學北海道短期大学部紀要』37	令 2.3
論文	単著	「応永本『和泉式部日記』の本文と表現」	『滝川国文』36	令 2.3

【平成26年度以前の主な研究業績】 (5点まで)				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	『和泉式部日記』における通世感の意義	『國學院大學大学院紀要』39	平 20.3
論文	単著	「応永本『和泉式部物語』の特質」	『日記文学研究誌』11	平 21.3
論文	単著	「応永本『和泉式部物語』の矛盾」	『平安文学研究』1	平 21.9
著書	単著	『和泉式部日記』の服飾表現	『文学・語学』199	平 23.3
論文	共著	『誰も書かなかった 清少納言と平安貴族の謎』	株式会社 KADOKAWA	平 25

【最近の社会的活動】

一般社団法人滝川青年会議所「POWER OF LIFE～縁～絵本で繋ぐみんなの未来」審査員 (平 29.7)

北海道新聞社ぶんぶんクラブ教養講座講師 (平 29.11～現在)

財団法人滝川市生涯学習振興会講座リブレーション講師 [古典文学] (平 29.4～現在)

【氏 名】太田信二 (オチ シジ)

【職 名】教授

【学 位】社会学修士

【生年月日】昭和26(1951)年12月16日

【本学就任】平成3(1991)年4月1日

【略 歴】北海道大学文学部哲学科卒業

一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了

一橋大学大学院社会学研究科博士課程単位修得退学

【専門分野】哲学・倫理学

【担当科目】哲学、倫理学、西洋哲学史A・B、西洋思想史、ゼミナールI・II、英語演習I、総合教養(分担)

【所属学会】日本哲学会、日本倫理学会、日本ヘーゲル学会

【研究テーマ】論理学、認識論、ヘーゲル哲学、生命倫理学

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[平成27年度～令和元年度(5点まで)]

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
辞 書	項目執筆	「基体」「偶有性」「契機」「変化」「矛盾」「現象／本質」「生成」「全体と部分」「対立」「内在(的)」「媒介」「発展」「分析と総合」	尾関他編『哲学中辞典』知泉書館	平28.11

【平成26年度以前の主な研究業績】(5点まで)

種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「01/02年におけるヘーゲルの論理学構想について——ヘーゲルの最初の講義草稿にもとづいて」	『國學院短期大学紀要』21	平16.3
論 文	単 著	「ヘーゲル『論理学』における限界の弁証法をめぐって」	『國學院短期大学紀要』23	平18.3
論 文	単 著	「想像力とその映像化をめぐって」	『國學院短期大学紀要』24	平19.3
論 文	単 著	「01/02年における論理学についてのヘーゲルの講義と思惟と存在との同一性の見地——トロックスラーのノートから見て」	『國學院短期大学紀要』26	平21.3
論 文	単 著	「文学—科学—道徳 —— 戸坂潤における「認識」をめぐって」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』30	平25.3

【最近の社会的活動】

一般社団法人滝川国際交流協会副会長(平27.5～平31.4)

【氏 名】 牧野 多聞 (マキノ タン)

【職 名】 教授 (総合教養学科)

【学 位】 理学修士

【生年月日】 昭和 27 (1952) 年 6 月 4 日

【本学就任】 昭和 57 (1982) 年 4 月 1 日

【略 歴】 学習院大学理学部物理学科卒業

学習院大学大学院自然科学研究科物理学専攻修士課程修了

学習院大学理学部助手

.....  
【専門分野】 物理学、自然科学、情報科学

【担当科目】 パソコン、インターンシップ、パソコン演習、自然界のしくみ、科学の歴史、情報処理論、  
コンピュータA、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、教養総合

【所属学会】 物理教育学会、応用物理学会

【研究テーマ】 物理教育、自然科学教育、情報教育

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】 [平成27年度～令和元年度 (5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月

【平成26年度以前の主な研究業績】 (5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「短期大学における物理教育」	『國學院女子短期大 学紀要』	昭 58.3
論 文	単 著	「文科系短期大学における情報処理教育」	『國學院女子短期大 学紀要』	昭 63.3
論 文	単 著	「情報教育が直面する問題－高校教育との役割 分担と連携」	『國學院女子短期大 学紀要』	平 15.3
論 文	単 著	「情報発信能力の育成を目指したカリキュラム と授業展開」	『國學院女子短期大 学紀要』	平 19.3

【最近の社会的活動】

産学連携教育研究所所長 (平 23.4～現在)

一般社団法人滝川市体育協会評議員 (平 23.4～現在)



【氏 名】佐野博之

【職 名】教授

【学 位】教育学士

【生年月日】昭和 28(1953)年 9 月 2 日

【本学就任】平成 26(2014)年 4 月 1 日

【略 歴】北海道教育大学教育学部釧路分校小学校教員養成課程卒業  
北海道教育庁空知教育局生涯学習課長  
北海道岩見沢市立東小学校長

.....  
【専門分野】教育学、教育法学

【担当科目】教育原理、教育行政学、介護等体験、ゼミナールⅠ・Ⅱ、教育実習Ⅰ・Ⅱ、  
教職入門、教職実践演習、道德教育論、教育社会学

【所属学会】法と教育学会、北海道社会科教育連盟

【研究テーマ】教育法規に即した適切な学校経営の在り方についての研究  
効果的かつ適切な教職課程の在り方についての研究

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[平成27年度～令和元年度(5点まで)]				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月

【平成26年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
指導資料	共 著	「平成 15 年度中学校教育課程改善の手引『評価の充実』」	北海道教育庁生涯学習部小中・特殊教育課	平 16.3
論 文	単 著	「調和のとれた学校運営実現のための具体的方策についてⅠ」	岩見沢市教育委員会「校長の思い」所収	平 22.5
論 文	単 著	「同 Ⅱ」	同上	平 23.5
論 文	単 著	「同 Ⅲ」	同上	平 24.5
論 文	単 著	「同 Ⅳ」	同上	平 25.5

【最近の社会的活動】

空知管内社会科研究会顧問(平 22.4～現在)

岩見沢市学校通学区域審議会委員長(平 26.6～現在)

岩見沢市教育委員会「寿大学」講師(平 27.5～8)

北海道教育庁空知教育局「子どもの自殺が起きたときの背景調査会」委員長(平 27.6～平 28.3)

新十津川町・雨竜町「子どもの自殺が起きたときの背景調査会」委員(平 27.4～現在)

北海道滝川西高等学校「学校関係者評価委員会」委員長(平 27.4～現在)

北海道教育庁空知教育局「子供の自殺が起きたときの背景に係る意見聴取会」委員長(平 28.10～平 29.3)

滝川市営事業等調査審議会委員長(平 29.4～平 29.12)

【氏 名】二ノ宮靖史 (ニノミヤ ヤスシ)

【職 名】教授

【学 位】修士 (言語学)

【生年月日】昭和 43 (1968) 年 3 月 14 日

【本学就任】平成 21 (2009) 年 4 月 1 日

【略 歴】上智大学外国語学部英語学科卒業

上智大学大学院外国語学研究科言語学専攻博士前期課程修了

國學院大學文学部兼任講師

.....  
【専門分野】音声学、言語学、言語教育、異文化理解

【担当科目】英語リーディング演習、英語基礎演習、エクステンシブリーディング、  
言語学概論、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、総合教養

【所属学会】日本音声学会、大学英語教育学会、言語研究学会

【研究テーマ】音と文字の関係、英語・日本語の音声分析、言語教育における指導法、  
各国の文化

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】 [平成27年度～令和元年度 (5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	「書記装置による絵文字の符号化・デジタル化」	『言語の世界』 33-1	平 27.6
論 文	単 著	「記号の転用—文字の質的变化の観点から」	『言語の世界』 33-2	平 27.11
論 文	共 著	「視覚印象的記号とその指示物が持つアイデンティティ」	『言語の世界』 36-1	平 30.6
論 文	単 著	「書記行動における書記・文字・用具・表示対象の順相関と逆相関」	『Walpurgis: 國學院大學外国語文化学科紀要』 2019	平 31.2
論 文	共 著	「文字論から見た正書法」	『言語の世界』 37-2	令元.12

【平成26年度以前の主な研究業績】 (5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著 書	共 著	『中学総合的研究 三訂版』	旺文社	平 25.1
論 文	単 著	「大文字・小文字の多重性—現代の英語表記を例にして」	『國學院雑誌』 115-11	平 26.11

【最近の社会的活動】

一般財団法人滝川生涯学習振興会講師 (平 23.10～現在)

北海道第 5 採択地区教科用図書採択委員: 英語 (平 27.6～平 27.8)

【氏名】 Timothy M. Blankley (ティモシー・M・ブランクリー)

【職名】 准教授 (総合教養学科)

【学位】 Master of Education (TESOL)

【生年月日】 昭和 37 (1962) 年 5 月 16 日

【本学就任】 平成 9 (1997) 年 4 月 1 日

【略歴】 The University of Southern Queensland

.....  
【専門分野】 applied linguistics (応用言語学)

【担当科目】英語コミュニケーションA、英語コミュニケーションB、英語コミュニケーションC、TOEIC Bridge、英語表現法、ゼミナールII、総合教養

【所属学会】 JALT (全国語学教育学会)

【研究テーマ】 TESOL (第二言語としての英語教授法)

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】 [平成27年度～令和元年度 (5点まで)]				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
学会発表	単著	“Why bears are hunted—extensive reading with local texts”	全国語学教育学会研究大会	平 28.10
学会発表	単著	“Changing Minds with the colored hats”	全国語学教育学会研究大会	平 29.10
学会発表	単著	“Assumptions challenged, emotions engaged, and significance discovered”	CamTESOL 第 16 回 年次大会	平 30.2

【平成26年度以前の主な研究業績】 (5点まで)				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	“Interrogating code-switching in task-based language teaching”	<i>Language Studies</i> 21 (小樽商科大学)	平 25.3
学会発表	共著	“Will it blend? —unboxing the product”	大学英語教育学会北海道支部研究会	平 26.11

【最近の社会的活動】

滝川市立高等看護学院講師 (英語、平 10.4～現在)

【氏名】 舛井 雄一 (マスイ ユウイチ)

【職名】 准教授

【学位】 修士 (会計学)

【生年月日】 昭和 51 年 8 月 27 日

【本学就任】 平成 20 年 4 月 1 日

【略歴】 國學院大學経済学部経済学科卒業

一橋大学大学院商学研究科経営・会計先攻修士課程修了

株式会社レインズインターナショナル

.....  
【専門分野】 会計学、地域活性化、キャリア教育

【担当科目】 簿記と財務報告/会計学、日本の経済、ゼミナール I・II、職業論等

【所属学会】 地域活性化学会、日本キャリアデザイン学会、ビジネス実務学会 等

【研究テーマ】 学生の地域活性化活動による社会人基礎力の成長

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】 [平成27年度～令和元年度 (5点まで)]				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「大学生参加型の「域学連携」まちづくり (2)」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 33	平 28.3
論文	単著	「大学生参加型の「域学連携」まちづくり (3)」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 36	平 31.3

【平成26年度以前の主な研究業績】 (5点まで)				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「地方自治体における内部統制改革の現状と課題」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 29	平 24.3
論文	単著	「新地方公会計制度における基準モデルの現状と課題 - 北海道のケース - 」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 30	平 25.3

【最近の社会的活動】

JICA 農業研修「農村における簿記の活用」講師 (平 25.6～現在)

滝川市いじめ問題連絡協議会 委員 (平 26.4～現在)

茨城県東海村観光協会 アドバイザー (平 28.7～30.3)

滝川市公共施設マネジメント市民会議 委員 (平 26.4～現在)

滝川市まち・ひと・しごと創生会議 委員 (平 27.10～現在)

【氏名】草薙 恵美子 (クサギ エミコ)

【職名】教授

【学位】教育学修士、理学修士

【生年月日】昭和 33 (1958) 年 4 月 19 日

【本学就任】平成 13 (2001) 年 4 月 1 日

【略歴】奈良女子大学理学部化学科卒業

奈良女子大学大学院理学研究科化学専攻修士課程卒業

北海道大学大学院教育学研究科博士後期課程教育学専攻単位修得退学

.....  
【専門分野】発達心理学

【担当科目】発達心理学 I・II、教育心理学、臨床心理学、教職実践演習、保育内容（人間関係）、教育と福祉の基礎

【所属学会】Society for Research in Child Development、日本心理学会、日本発達心理学会、日本教育心理学会、

日本保育学会

【研究テーマ】子どもの気質発達、子どもの発達への環境化学物質暴露の影響

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[平成27年度～令和元年度（5点まで）]				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「気質」	『児童心理学の進歩 2015年版』金子書房	平 27.6
学会発表	共著	“Regional differences in and factors influencing children's play in Japan”	31st International Congress of Psychology	平 28.7
論文	共著	“Children's Hair Mercury Concentrations and Seafood Consumption in Five Regions of Japan”	Arch Environ Contam Toxicol, 74(2), 259-272.	平 30.1
学会発表	共著	「幼児の毛髪微量元素濃度とその影響要因」	環境ホルモン学会第 21回研究発表会	平 30.
学会発表	共著	“Japanese Children's Temperament from Early to Middle Childhood”	SRCD 2019 Biennial Meeting	平 31.3

【平成26年度以前の主な研究業績】（5点まで）				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「乳児の気質の構造：情動表出傾向及び接近傾向における一考察」	『発達心理学研究』4	平 5.7
論文	共著	「乳児の気質的特徴としての情動表出におけるスタイルは存在するか」	『教育心理学研究』45	平 9.3
論文	共著	“Psychometric Properties of the Toddler Behavior Assessment Questionnaire applied to Japanese children”	<i>Psychologia</i> 43	平 12.12

【最近の社会的活動】

滝川市保健医療福祉推進市民会議委員（平成 26 年 5 月～現在）

教員免許更新制免許状更新講習講師（平成 27 年度）

北海道心理学会研究奨励賞選考委員会委員長（平成 28 年度）

【氏名】黒阪 陽一 (加助 昶仔)  
 【職名】教授  
 【学位】教育学士  
 【生年月日】昭和23(1948)年9月13日  
 【本学就任】昭和57(1982)年4月1日  
 【略歴】北海道教育大学(札幌校)卒業  
 私立北星学園女子中学・高校非常勤講師  
 Circuro de Bellas Artes-MADRID 留学

【専門分野】美術(絵画制作)  
 【担当科目】造形の基礎Ⅰ・Ⅱ、造形表現法Ⅰ・Ⅱ、保育内容・表現、総合表現Ⅰ・Ⅱ  
 保育実習指導Ⅱ、教育と福祉の基礎  
 【所属学会】一般社団法人日洋会  
 【研究テーマ】油彩古典技法の今日的な表現方法について  
 【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[平成27年度～令和元年度(5点まで)]				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
作品		「日展」出品	公益社団法人 日展 (国立新美術館)	平27.10
		「日展」出品	公益社団法人 日展 (国立新美術館)	平29.10
		「日洋展」出品(井出宣通賞受賞)	一般社団法人 日洋会 (国立新美術館)	平30.5
		「日展」出品	公益社団法人 日展 (国立新美術館)	平30.10
		「日展」出品	公益社団法人 日展 (国立新美術館)	平31.10

【平成26年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
作品		昭和55年より 日洋展出品(受賞5回)	一般社団法人 日洋会	昭55～平26
		昭和58年より 日展出品(入選21回、平成11年会友推挙)	(国立新美術館その他) 公益社団法人 日展 (国立新美術館その他)	昭58～平26
		「日洋展」出品(委員賞、評議員に推挙)	一般社団法人日洋会 (国立新美術館)	昭59、昭62
		「ベストセレクション2014」展出品	東京都 (東京都美術館)	平26年5月

【最近の社会的活動】

日洋展審査委員(平成17年度～現在)、  
 北海道現代具象展実行委員として北海道内各地(札幌、小樽、苫小牧、千歳、室蘭、滝川、深川、鹿追その他)で美術展を開催

【氏名】松田 由理子 (マツダ ユリコ)

【職名】教授

【学位】学士 (芸術学)

【生年月日】昭和 24 (1949)年 1 月 19 日

【本学就任】昭和 57 (1982)年 4 月 1 日

【略歴】東京芸術大学音楽学部声楽科卒業

Accademia Musicale Ottorino Respighi Corso di Interpretazione e Seminari 修了

イタリア オットリーノ レスピーギ音楽院講習会

【専門分野】音楽 声楽

【担当科目】音楽の基礎Ⅰ、音楽の基礎Ⅱ、音楽表現Ⅰ、音楽表現Ⅱ、ピアノ実技Ⅰ、ピアノ実技Ⅱ、総合表現Ⅰ、

総合表現Ⅱ、教育と福祉の基礎、保育実習指導Ⅰ

【所属学会】日本声楽発声学会、

【研究テーマ】バロック時代から近代までの声楽曲の演奏

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 27 年度～令和元年度 (5 点まで)]				
(平成 27 年度 4 月 1 日～令和元年度 3 月 31 日)				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	共著	「伝承遊びの意義と実践」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』32	平 27.3
論文	共著	「教員・保育士養成課程における初心者へのピアノ実技指導の一考察—歌唱教材・子どもの歌の弾き歌いについて—」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』35	平 30.3
演奏	独唱	リリースコンサート 2018 —夏— G.Gershwin/Summertime from Porgy and Bess	主催 声楽研究会 Lilies /ルーテルホール	平 30.7
演奏	独唱	リリースコンサート 2019 G.Gershwin/Summertime from Porgy and Bess	主催 声楽研究会 Lilies/札幌市豊平館	令元.8

【平成 26 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	共著	「保育士養成課程における保育内容の研究『総合表現』授業実践に関する一考察」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』27	平 20.3

【最近の社会的活動】

東京国際声楽コンクール北海道大会審査委員 (平 22、平 2)

札幌市民芸術祭新人音楽会部会委員 (平 23.4～平 25.3、平 28.4～平 29.3)

全日本学生音楽コンクール北海道大会声楽部門予選、本選審査員 (平 22、平 25)

札幌北高等学校 評議員 (平 14.4～平 25.3)

声楽研究会 Lilies 主催コンサートにて楽曲解説 (平 29.1、平 30.1 後援札幌市・札幌市教育委員会/札幌市豊平館)

NPO 法人カルチャーナイト北海道共催 札幌サンプラザ・声楽研究会 Lilies 主催コンサートにて楽曲解説 (平 24.7)

【氏 名】 田中一徳 (なか が 一 徳)

【職 名】 教授 (幼児・児童教育学科 幼児保育コース)

【学 位】 修士 (教育学)

【生年月日】 昭和 45 (1970) 年 7 月 17 日

【本学就任】 平成 21 (2009) 年 4 月 1 日

【略 歴】 東京学芸大学教育学部人間科学課程生涯スポーツ専攻コミュニティスポーツ選修卒業  
東京学芸大学大学院教育学研究科保健体育専攻生涯スポーツ講座コミュニティスポーツ分野修了

【専門分野】 ウェルネス、健康教育、野外教育、体験学習、生涯スポーツ

【担当科目】 健康科学、スポーツ演習 A・B、レクリエーション理論、レクリエーション実技、  
体育の基礎、野外実習 (野外体験)、留学・海外研修等による単位認定科目、保育実習指導 I 他

【所属学会】 日本体育学会、日本ウェルネス学会、日本野外教育学会、日本登山医学会、日本発育発達学会

【研究テーマ】 ウェルネスをテーマとした健康行動の測定および自然体験活動に関する研究

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】 [平成27年度～令和元年度 (5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「教職課程の学生を対象とした体育科教育における ICT 活用指導力に関する調査研究」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 34	平 29.3
論 文	単 著	「幼児期児童期における運動あそび指導の検討：滝川市内幼稚園・保育所・小学校連携推進研修会の実践事例」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 35	平 30.3
学会発表	共 著	“Benefits of an outdoor recreation program for Health and Welfare students at a university in Northern Hokkaido”	『日本野外教育学会第 21 回大会抄録集』	平 30.6
論 文	共 著	「北海道道北地方におけるアウトドアレクリエーションが大学生の気分プロフィール (POMS) およびストレスに及ぼす影響」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 36	平 31.3
学会発表	単 著	「女子大学生を対象とした全身アロママッサージの心理的評価の検討」	『日本ウェルネス学会第 16 回大会号』	令元.9

【平成26年度以前の主な研究業績】 (5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「國學院大學北海道短期大学部学生の体力・運動能力に関する基礎的研究 (1)」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 28	平 23.3
論 文	単 著	「高齢者におけるノルディックウォーキングの運動効果に関する事例研究：公開講座受講者を対象として」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 29	平 24.3
論 文	単 著	「國學院大學北海道短期大学部学生の体力・運動能力に関する基礎的研究(2)：2010年から2012年実施の新体力テストの検討」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 30	平 25.3
論 文	単 著	「短大生における健康行動と精神的健康：学生精神的健康調査 (UPI) の実施結果」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 31	平 26.3
論 文	単 著	「短期留学生のライフスタイルに関する調査研究：ウェルネスチェックテストの実施結果」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 32	平 27.3

【最近の社会的活動】

北海道滝川市社会教育委員会 委員 (平 26.5～現在)

日本ウェルネス学会 理事 (平 28.4～現在)

一般社団法人滝川国際交流協会 理事 (令元.5～現在)



【氏 名】松村 澄絵 (マツムラ スミエ)  
 【職 名】特別専任准教授  
 【学 位】準学士 (幼児教育学)  
 【生年月日】昭和 25 年 (1950) 年 5 月 22 日  
 【本学就任】平成 16 年 (2004) 年 4 月 1 日  
 【略 歴】旭川大学女子短期大部幼児教育学科専攻科

【専門分野】幼児教育  
 【担当科目】児童文学、教育課程論、教育方法論、保育内容総論、特別支援教育論、保育原理Ⅱ  
 【所属学会】なし  
 【研究テーマ】保育所・幼稚園における保育実践の研究  
 【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[平成27年度～令和元年度(5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月

【平成26年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	「統合保育における障害ある幼児への特別支援教育計画・わかば幼稚園の事例をとおして」	『國學院短期大学紀要』26	平 21.3
論 文	共 著	「総合的自然体験活動の授業実践とその検討(3)」	『國學院短期大学紀要』27	平 22.3

【最近の社会的活動】

中空知図書館ネットワーク推進事業絵本の読み聞かせワークショップ・人材育成のための講座とおはなしカーニバル (平 20.6～現在)  
 深川市 2 歳児子育て支援講師 (平 21.4～平 25.2)  
 深川市子育てサポート講師 (平 21.4～現在)  
 道立図書館平成 29 年度全道図書館中堅職員研修会講師 (平 29.7.6)  
 岩見沢市立図書館ブックスタート研修会講師 (平 31.2.26)  
 北海道教育庁幼児教育相談員 (幼児教育アドバイザー) (平 29.9～平 31.3)  
 教員免許状更新講習・旭川支部の免許状更新講習講師 (令元.8.17)

【氏 名】菅原 健太 (カワラ ケタ)  
 【職 名】助教 (幼児・児童教育学科 幼児保育コース)  
 【学 位】修士 (教育学)  
 【生年月日】昭和 56 (1981) 年 1 月 31 日  
 【本学就任】平成 30 (2018) 年 4 月 1 日  
 【略 歴】北海道大学教育学研究科博士後期課程単位取得退学  
 豊岡短期大学通信課程専任講師

【専門分野】教育学

【担当科目】教育原理、教育相談、保育制度論、保育相談支援、子ども家庭福祉、日本語の基礎、  
 幼稚園実習指導

【所属学会】日本教育社会学会、北海道教育学会、北海道社会学会

【研究テーマ】青年期における自己意識と就業意識の表れ方について

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】 [平成27年度～令和元年度 (5点まで)]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	単 著	「教職課程「教育原理」におけるアクティブラーニングの意義と課題」	『豊岡短期大学論集』 13	平 29 年 4 月
論 文	単 著	「デュイ教育学における「学校という場」の現代的状況について」	『豊岡短期大学論集』 14	平 30 年 4 月
テキスト	単 著	豊岡短期大学通信課程『教育原理 別冊』	豊岡短期大学通信課程	平 31 年 4 月
テキスト	共 著	豊岡短期大学通信課程『教育原理』 担当章 「はじめに」、「第1章 教育とは何か、教育原理とは何か、そして何を学ぶのか」、「第4章 日本の教育思想」、「第7章 制度から見る保育所、幼稚園、認定こども園」、「第8章 環境を通して行う教育」、「第10章 日本における教育の歴史の変遷」、「第15章 教育における今日的課題③学校外との連携」、「おわりに」	豊岡短期大学通信課程	

【平成26年度以前の主な研究業績】 (5点まで)				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論 文	共 著	「高校生の職業意識と進路指導」	北海道教育学会『教育学の研究と実践』4	平 21.3
論 文	単 著	高校生における「自分らしさ」と就業意識	『北海道大学大学院教育学研究科紀要』 107	平 21.6
論 文	単 著	「学歴と努力との関係から見る将来展望の相違」	北海道教育学会『教育学の研究と実践』6	平 23.3
論 文	単 著	「高校生における自己の使い分けと友人関係の使い分け」	北海道社会学会『現代社会学研究』24	平 23.6

【最近の社会的活動】

滝川市環境市民委員(平 31 年 4 月～現在)

【氏名】田代 雄一 (オノ ユウイチ)

【職名】教授

【学位】教育学士

【生年月日】昭和26年10月19日

【本学就任】平成25(2013)年4月1日

【略歴】北海道教育大学釧路校小学校課程卒業 長沼町教育委員会指導主事 芦別市立緑ヶ丘小学校長  
滝川市立第三小学校長 滝川市立第一小学校長 空知教育センター所長

【専門分野】教科教育学(社会・算数数学)、教育方法学、学校学級経営論、教育カリキュラム論

【担当科目】算数概説、算数科指導法、教職実践演習、職業研究B、職業研究C、図書館概論、  
小学校教育実習1、小学校教育実習II、教育方法論、ゼミナールI、ゼミナールII

【所属学会】元日本教育工学研究会理事 空知国際理解教育研究会顧問

【研究テーマ】学生の教職キャリア形成への関心や意識醸成の分析及び今日教師に求められている新しい時代を  
逞しく生きる子どもを心豊かに育成することのできる資質能力や教科指導・教育相談等の実践的  
指導力の基礎は何かを探り、それらをいかに形成するか課題の検討を進める。

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】[平成27年度～令和元年度(5点まで)]				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	「個の進捗、能力を重視した指導」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』32	平27.3
論文	共著	「教育実習の質を高める指導～教育実習生の自己評価を通して～」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』34	平29.3
論文	単著	「新学習指導要領のねらいを達成するために～算数授業づくりのキーポイント～」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』35	平30.3
論文	共著	「児童の立場に立った生徒指導とキャリア教育」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』37	令2.3

【平成26年度以前の主な研究業績】(5点まで)				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著書	共著	滝川市社会科副読本7訂版「わたしたちの滝川」	滝川市教育委員会	平24.3
論文	共著	「伝え合い、高め合う子どもの育成」	『滝川市立滝川第一小学校研究紀要』	平24.3
論文	単著	「道徳の時間の指導過程と評価」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』31	平26.3
論文	共著	「豊かな言語活動を通して、確かな国語の力を育む授業の究明」	『全道国語教育研究会紀要』	平26.10

【最近の社会的活動】

滝川市高等学校教育のあり方に関する検討市民会議委員長(平26.4～平27.3)

北海道立滝川高等学校学校評議員(平26.4～平28.3)

社会福祉法人滝川ほほえみ会理事・評議員(平25.4～現在)

滝川市子ども支援協議会会長(平26.4～現在)

滝川市教育委員(平27.6～現在)

北海道教育委員会北海道教員育成協議会養成部会委員(平30.2～現在)

北海道教育委員会小中学校免許状併有に係わる認定講習検討会議委員(令元.6～現在)

【氏名】春田 淳一 (ハルタ ジュンイチ)  
 【職名】准教授  
 【学位】教育学士  
 【生年月日】昭和 29(1954)年 5 月 31 日  
 【本学就任】平成 28(2016)年 4 月 1 日  
 【略歴】北海道教育大学教育学部卒業  
 滝川市教育委員会指導室長・指導参事  
 滝川市立江陵中学校校長  
 空知教育センター所長

【専門分野】 社会科教育、道徳教育  
 【担当科目】 道徳教育論、社会概説、社会科指導法、生活概説、生活科指導法、  
 生徒指導とキャリア教育の基礎、小学校教育実習 I、職業研究 B、  
 ゼミナール A、ゼミナール B  
 【所属学会】 北海道社会科教育研究会、空知社会科教育研究会  
 【研究テーマ】  
 【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [平成 27 年度～令和元年度 (5 点まで)]				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
研究紀要	共著	『確かな学力』の育成を図る学習指導の在り方	空知教育センター	平 28.3
論文	共著	「教育実習の質を高める指導～教育実習生の自己評価を通して～」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 34	平 29.3
論文	共著	「児童の立場に立った生徒指導とキャリア教育」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 37	令 2.3

【平成 26 年度以前の主な研究業績】 (5 点まで)				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
研究紀要	共著	豊かな言語活動を通して確かな国語の力を育む授業の究明	北海道国語教育連盟	平 26.10
研究紀要	共著	「確かな学び」の育成を図る授業改善との方策	滝川市立江陵中学校	平 26.11

【最近の社会的活動】

滝川市教育委員会の権限に属する事務の外部評価会議委員長 (平成 27.11～現在)  
 滝川市高等学校教育のあり方に関する検討市民会議委員長 (平成 28.3～現在)  
 北海道滝川高等学校評議員 (平成 28.4～現在)  
 北海道いじめ問題等解決支援外部専門家チーム員 (平成 29.4～現在)  
 芦別市いじめ問題専門委員会委員長 (平成 30.10～現在)

【氏 名】 矢口元晴 (ヤグチ モトル)

【職 名】 准教授

【学 位】 教育学士

【生年月日】 昭和 28 (1953) 年 1 月 1 日

【本学就任】 平成 28 (2016) 年 4 月 1 日

【略 歴】 北海道教育大学旭川分校卒業  
 在バングラデシュ日本大使館附属ダッカ日本人学校  
 上川教育研修センター所長

【専門分野】 教育

【担当科目】 理科概説、教育原理、教育課程論、職業研究A (総合学習)、ゼミ A・B、教師論、教育相談、特別活動論、進路指導とキャリア教育の基礎、総合的な学習の時間と特別活動の指導法

【所属学会】 日本初等理科教育研究会

【研究テーマ】 地域素材を生かした教育の在り方

【研究業績】

【最近5年間の主な研究業績】 [平成27年度～令和元年度 (5点まで)]				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	共著	「学び合いで確かな学力を育てる学習指導の在り方」	『上川教育研修センター研究紀要』 41	平 28.3
論文	共著	「教育実習の質を高める指導～教育実習生の自己評価を通して～」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 34	平 29.3
論文	共著	「児童の立場に立った生徒指導とキャリア教育」	『國學院大學北海道短期大学部紀要』 37	令 2.3

【平成26年度以前の主な研究業績】 (5点まで)				
種類	区分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
著書	共著	『札幌の自然を歩く』	北大図書刊行会	昭 59.5
著書	単著	『黄金のベンガル』	PADMA プリンター	平 4.3
論文	共著	「学び合いで確かな学力を育てる学習指導の在り方」	『上川教育研修センター研究紀要』 40	平 27.3

【最近の社会的活動】

- 北海道中学校長会理事 (平 24.4～25.3)
- 北海道立旭川美術館協議会委員 (平 26.5～27.3)
- 地域とともにある学校づくり実行委員会副委員長 (平 26.6～27.3)
- 旭川市学校教育基本計画中間点検懇話会副座長 (平 26.9～27.3)
- 北海道教科用図書選定審議会調査員 (平 27.4～27.10)
- 北海道教育大学付属旭川中学校学校評議員 (平 28.4～29.3)
- 上川管内教育調査研究事業実行委員会副実行委員長 (平 25.4～現在)
- 滝川市環境市民委員会委員 (平 29.4～31.3)